

## 令和 5 年度 豊能二次医療圏 医療・病床懇話会における主な意見（概要）

開催日時：1 月 16 日 場所：池田保健所

### 1 第 8 次大阪府医療計画に関する意見

#### 【基準病床数】

- 豊能圏域における基準病床数は 8,683 床、既存病床数は 8,879 床であり、平均在院日数 14.3 日で設定しても、その差が 196 床しかない。また、既に病院連絡会等で豊能圏域では今後、200 床以上減ることが予定されており、基準病床数以下になる見込みである。
- 大阪府豊能地域救急メディカルコントロール協議会で扱われているデータによると、豊能圏域において、三次救急は他圏域からの流入が多いが、二次救急は流出が非常に多い。
- 豊能圏域には特定機能病院 2 病院の 1,584 床が既存病床数に含まれており、他圏域の患者も診ている。そのため、今後増え続ける高齢者救急等高齢者問題を考えると、明らかに病床が足りなくなる。
- 看護師不足が原因で病床を増やさないと良いという意見だが、病床は増やすべきである。看護師を確保し、ベッドを効率的に運用できる病院だけが残るだろう。1 ベッドで対応している患者数を比較してほしい。
- 豊能圏域の特色として、民間病院の病床数が大阪府全体と比べて少ない。今後、高齢者の入院を受け入れるにあたり、回復期病床が足りないと言われているが、どの病院も病床を増やせない根本的な問題を抱えている。病床を増やしても、機能するまでに 5 年以上を要するため、2025 年に向け、今から準備を進めなければ、時期を逸するのではないかと危惧している。

#### （大阪府の回答）

- 基準病床数の考え方の見直しについては、様々な状況を踏まえ、2025 年の地域医療構想の見直しに合わせて検討されることになっており、大阪府としても、情報収集を行い、今後の整備の考え方をとりまとめていきたい。
- 限られた医療資源の中で、地域でどのような機能の病床を増やさないといけないのか、役割分担が必要かといった議論を地域医療構想で進め、大阪府として対応していきたい。

### 2 地域医療構想の推進に関する意見

#### 【全体】

特になし。

【各病院の対応方針（病院プランにおける 2025 年に検討している病床機能等）】

（1）公立・公的病院

特になし。

（2）その他、民間病院等

特になし。

【保健医療協議会において対応方針について説明を依頼する病院】

特になし。

【重点支援区域の申請（申請しないことについて）】

特になし。

【病床機能再編支援事業申請医療機関】

特になし（申請医療機関なし）。